

跡見学園女子大学花蹊記念資料館
平成24年度活動報告

平成24年度企画展覧会一覧

期 間	開館 日数	展覧会名 第1展示室	展覧会名 第2展示室	備 考
4月3日(火)～ 5月31日(木)	48	学園創立者跡見花蹊の横顔	平成24年桜まつり 花蹊記念資料館・図書館 共催事業 『桜の本と標本展』	入学式開館 第2展示室は 4月2日(月)開館
6月16日(土)～ 7月31日(火) 8月18日(土)	38	第4回 アトミ・アート展	花蹊記念資料館 コレクション展 第1期	オープンキャンパス 臨時開館
9月26日(水)～ 11月4日(日)	33	跡見 廉書会 第6回OG作品展	花蹊記念資料館 コレクション展 第2期	紫祭開館
11月21日(水)～ 12月22日(土)	32	中国宋代絵画展 — 原寸大複製による —	花蹊記念資料館 コレクション展 第3期	11月23日(金・祝)開館
1月22日(火)～ 2月4日(月)	10	博物館実習生による模擬展示 「体を温める、冬の生活」	東西交龍 — 時間を超越した龍と人間のあり方 —	入試当日は閉館
3月22日(金)～ 3月30日(土)	8	学園創立者跡見花蹊の横顔	小企画 桜パネル展示	桜祭りにあわせて
計	169			

第1回企画展
学園創立者跡見花蹊の横顔

会 期 4月3日(火)～5月31日(木)
会 場 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
開催時間 9:30～16:30(日曜・祝日は休館)
主 催 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
入館無料
入 館 者 2,037名



ポスター、チラシ

作品リスト

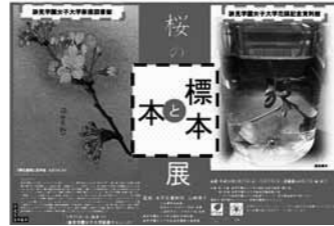
No.	作品名	員数	制作年	制作者
1	牡丹図	1	明治19(1886)年3月	跡見花蹊
2	色紙 竹図	1		跡見花蹊
3	葉書「四季のはな」貼交屏風	1		跡見花蹊
4	素描集全八集の内三 植物	1		跡見花蹊
5	日光湯瀧図	1		跡見花蹊
6	墨竹図	1		跡見花蹊
7	書軸 無我	1	大正7(1918)年	跡見花蹊
8	八十自寿詩	1	大正8(1919)年	跡見花蹊
9	一行書 鍊性洗情	1		跡見花蹊
10	屏風 百人一首	1		跡見花蹊
11	和歌下書 夏懐旧	1		跡見花蹊
12	跡見花蹊胸像	1		宮原常二郎
13	現今英名百首	1	明治14(1881)年9月	真亭逢多
14	書画鑒定大日本名家全書	7	明治42(1909)年10月25日第三版発行	宮崎幸磨編纂
15	近世名婦伝	1	昭和15(1940)年	神崎清

第2回企画展

平成24年 桜まつり

花蹊記念資料館・図書館共催事業『桜の本と標本展』

会 期 4月3日(火)～5月31日(木)
 会 場 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
 開催時間 9:30～16:30(日曜・祝日は休館)
 主 催 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
 入館無料
 入 館 者 第1回企画展と共通



ポスター、チラシ

桜の本と標本展〈作品〉

番号	名称	員数	制作年	制作者
1	両手本 花卉図	17		跡見花蹊
2	枝垂桜に鶯図(双幅の内)	1		中島来章
3	紅葉に鶯図(双幅の内)	1		中島来章
4	桜花鴛鴦図	1	昭和16(1941)年	跡見玉枝
5	色紙 桜図	1		跡見玉枝
6	扇面下絵 桜花図	1		跡見玉枝 か
7	素描集全八集の内一 植物	1		跡見花蹊
8	和紙色紙	1		跡見花蹊

第3回企画展

第4回 アトミ・アート展

会 期 6月16日(土)～7月31日(火)、8月18日(土)
 会 場 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
 開催時間 9:30～16:30(日曜・祝日は休館)
 主 催 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
 入館無料
 入 館 者 892名



ポスター、チラシ


第4回アトミ・アート展 —アトミ・アートの起点—

アトミ・アート展は、平成20年まで開催していた「デザイン・工芸実習展」を引き継ぎ、平成21年度からあらたに開催し、本年度で4年目を迎えました。第4回展では、アトミ・アートの起点である本学美術、工芸、デザインの各実習でできた学生作品、そして、平成19年から3年間実施した文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業に協力していただいた跡見学園女子大学の教員、卒業生、ワークショップ参加者等の作品を展示いたします。また、第2回展から「紋切り」「日本画」「箔置き」などの公開制作を通して完成した「象とその仲間」を併せて展示するとともに、新作の公開制作を企画しています。ご高覧・ご参加いただければ幸いです。

企画・監修
 文学部人文学科教授 杉本昌裕

第4回企画展

跡見学園女子大学花蹊記念資料館 コレクション展 第1～3期

会 期	第1期 6月16日(土)～7月31日(火)、8月18日(土) 第2期 9月26日(水)～11月4日(日) 第3期 11月21日(水)～12月22日(土)	
会 場	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	
開催時間	9:30～16:30(日曜・祝日は休館)	
主 催	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	
入館無料		
入 館 者	第1期 892名 第2期 595名 第3期 647名	

ポスター、チラシ

本展覧会では、全3期にわたり、当館コレクションを紹介する。花蹊記念資料館は17年前、平成7(1995)年に50点程度の書画や教科書類を収蔵する大学内施設としてスタートしたが、現在は5,000点以上を収蔵するまでに至った。その内容は、跡見学園創立者、跡見花蹊(1840-1926)の作品のみならず、教育関係の資料、大学内から出土した縄文時代の遺物、大学構内に咲くサクラのさく葉標本など様々である。

第1期では、昭和52(1977)年から8年間、跡見学園短期大学で学長をつとめた久保貞次郎(1909-1996)のコレクションから、北川民次らの作品、跡見花蹊の甥で洋画家の跡見泰(1884-1953)が家族などに送付した旅先からの絵葉書など計20点を出品する。

作品リスト

No.	作品名	員数	制作年	制作者
1	コルドバにて	1	昭和57(1982)年	木村茂
2	オリムピック シリーズ よりバタフライ、レスリング、ハンマー投げ	3	昭和61(1986)年	鬚嘸
3	絵葉書 白根山	1		跡見泰
4	絵葉書 中禅寺湖	1		跡見泰
5	絵葉書 華厳の滝	1	5日	跡見泰
6	絵葉書 日光馬返	1		跡見泰
7	絵葉書 大仏山門	1	5月8日	跡見泰
8	絵葉書 伊勢	1		跡見泰
9	絵葉書 奈良	1	5月7日	跡見泰
10	絵葉書 奈良若草山	1	5月4日	跡見泰
11	PAT-PAT-TAP	1	昭和55(1980)年	鬚嘸
12	PAT-TAP-PAT-TAP etc.	1	昭和55(1980)年	鬚嘸
13	Ohne titel I	1		ヘルムート・ズントハウゼン
14	Ohne titel II	1		ヘルムート・ズントハウゼン
15	ニューヨーク	1		木村利三郎
16	平均的幸福値への形而上的願望	1	昭和43(1968)年	タカハシ・シュー
17	庭園	1	昭和21(1946)年	ヘンリー・ミラー
18	母子像	1		北川民次
19	裸婦	1		木内克
20	夜の鳥	1		福沢一郎

第2期は、本学で収蔵する書の作品の中から、本学創立者跡見花蹊の代表作をはじめ、学園ゆかりの人々・原三溪や佐佐木信綱、本学で教鞭をとった落合直文、大口鯛二、卒業生であり、流麗な跡見流の書を伝えた井上幸子、板谷春子らの作品を出品いたします。

作品リスト

No.	作品名	員数	制作年	制作者
1	八十自寿詩	1	大正8(1919)年	跡見花蹊
2	浄土三部妙典 全 ①佛説阿弥陀経 ②佛説観無量寿経 ③佛説無量寿経上 ④佛説無量寿経下	4	①明治43(1910)年3月30日 ②明治43(1910)年8月29日 ③明治44(1911)年6月12日 ④大正3(1914)年4月1日	跡見花蹊
3	木彫額 濟厥美	1	昭和10(1935)年	跡見李子
4	和歌色紙 小石川柳町より大塚町へ 移転の校舎にて	1	昭和7(1932)年12月	井上幸子
5	和歌色紙 跡見創立百年を終へて	1	昭和51(1976)年3月31日	井上幸子
6	和歌色紙 歌の師 大口鯛二先生 跡見女学校四年生の時 詠みし歌	1		井上幸子
7	書軸 青山有雪	1		板谷春子
8	和歌短冊	1		伊藤嘉夫
9	書軸 溪梅	1		大口鯛二
10	和歌短冊 山水	1		大口鯛二
11	和歌短冊 涼月	1		大口鯛二
12	新編假名遣	1	明治43(1910)年3月20日八版	落合直文
13	和歌短冊 明治15年父と共に神田中 猿楽町に跡見女学校をとひし事ありき	1		佐佐木信綱
14	書軸 白雲洞五絶	1	昭和9(1934)年	原三溪
15	色紙	1		堀口大学
16	色紙	1		林扶美子
17	和歌短冊 母校の八十周年にあたりて	1	昭和30(1955)年	森律子

第3期では、昨年度新収蔵となった作品の初公開をはじめ、絵画、工芸などのさまざまな作品を展示いたします。

作品リスト

No.	作品名	員数	制作年	制作者
1	秋林幽棲図	1		日根対山
2	四季山水図	4		跡見花蹊
3	鯉図	1		跡見花蹊
4	魚之図扇面	1	昭和11(1936)年	跡見玉枝
5	普賢菩薩像	1		山崎弁栄
6	桃鳩図	1		
7	双六盤竹と雀図	1	大正3(1914)年8月下賜	
8	御紋付銀製花盛器	1	昭和8(1933)年年4月30日下賜	小林時計店
9	木彫額 濟厥美	1	昭和10(1935)年	跡見李子
10	壺蟹図	1	大正5(1916)年	跡見花蹊
11	小皿	1	大正5(1916)年	跡見花蹊
12	水軒夏日図	1		跡見花蹊

第5回企画展
跡見 廉書会 第6回 OG 作品展

会 期 9月26日(水)～11月4日(日)
会 場 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
開催時間 9:30～16:30(日曜・祝日は休館)
主 催 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
入館無料
入 館 者 595名



ポスター、チラシ

作品リスト

No.	作品名	員数	制作年	出品者名
1	臨書 曹全碑	1		稲山朝美
2	小色紙	1		京翠湖
3	臨美人董氏墓誌銘	1		門屋博子
4	忘れない	1		金田艸玉
5	和歌二首「ほのぼのと・・・」	1		小林花舟
6	千字文	1		塩澤陽子
7	藝	1		鈴木籬香
8	香	1		竹井章泉
9	龍	1		中ぞの蝶子
10	子規の句	1		船橋揺流
11	漢詩	1		細谷松泉
12	かな	1		三橋琢璃子
13	悠々自適	1		麗子鳳王
14	天法道	1		柳澤玉暎
15	般若心経	1		竹村萃光

第6回企画展
中国宋代絵画展 一原寸大複製による一

会 期 11月21日(水)～12月22日(土)
会 場 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
開催時間 9:30～16:30(日曜・祝日は休館)
主 催 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
入館無料
入 館 者 647名



ポスター、チラシ

出品目録並びに解説

五代・北宋時代

1. 伝 巨然 筆 「層巖叢樹図」 軸
2. 伝 范寛 筆 「溪山行旅図」 軸
3. 郭熙 筆 「早春図」 軸
4. 作者不詳 「茂林遠岫図」 卷
5. 作者不詳 「丹楓呦鹿図」 軸
6. 崔白 筆 「双喜図」 軸
7. 伝 李唐 筆 「万壑松風図」 軸

南宋時代

8. 伝 蘇漢臣 筆 「秋庭戲嬰図」 軸
9. 作者不詳 「奇峰万木図」 团扇
10. 閻次平 筆 「松磴精廬図」 図扇
11. 馬遠 筆 「華燈侍宴図」 軸
12. 夏珪 筆 「溪山清遠図」 卷
13. 作者不詳 「橙黄橘绿図」 図扇
14. 作者不詳 「海棠図」 团扇
15. 作者不詳 「草虫瓜果図」 团扇
16. 作者不詳 「山搦霽雪図」 团扇
17. 馬麟 筆 「芳春雨霽図」 斗方

第7回企画展 学園創立者跡見花蹊の横顔

第一展示室 花蹊の教育―茶と作法―
第二展示室 写真で見る学園の歩み



第一展示室



第二展示室

会 期 3月22日(金)～3月30日(土) 開館日数 計8日
会 場 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
開催時間 9:30～16:30(日曜・祝日は休館)
主 催 跡見学園女子大学花蹊記念資料館
入館無料
入 館 者 452名



ポスター、チラシ

学校法人跡見学園の歴史は、1875(明治8)年「跡見学校」(神田仲猿楽町)開学に始まる。学祖跡見花蹊は、知育のみに偏らない教育を理想としたが、その背景にはやがて家庭人となるであろう女生徒たちに役立つ教育という深淵なる配慮のもと、点茶・挿花・裁縫などの実践的な教育もおこなわれていた。

第一展示室では、創立当時からの跡見花蹊の教育を展示した。特に本展では、実践科目として開学当初から開講されていた点茶(茶道)を中心にとりあげた。

第二展示室はその学校で生徒たちはどのように過ごしたのか、校服を中心に学校の歴史をたどる。展示室の中心には花蹊本人が正装でお客様をお迎える。周囲は、写真資料をも活用しながら、開学当時の生徒から、現在の大学生までの様子をたどれるよう試みた。

また、ロビー展示では新座キャンパス内の桜の花の写真パネルを中心に液浸標本や桜をモチーフにした品を展示した。

展示室1 「花蹊の教育―茶と礼儀作法―」

番号	資料名	作者	年代	備考
1	写真(学祖跡見花蹊が正装でお出迎え)		大正の頃(年月不詳)	
2	写真(開校当時の神田仲猿楽町校舎正面)		1875(明治8)年1月8日撮影	
3	写真(正月を寄宿舎で過ごした生徒たち)		1911(明治44)年撮影	
4	写真(挿花の授業)		大正の頃(年月不詳)撮影	
5	写真(琴曲の授業)		大正の頃(年月不詳)撮影	
6	写真(作法の授業)		1915(大正4)年撮影	
7	写真(裁縫の授業)		1915(大正4)年頃撮影	
8	写真(割烹の授業)		明治の頃(年月不詳)撮影	
9	写真(書道の授業)		大正の頃(年月不詳)撮影	
10	写真(習字絵画教室)		大正の頃(年月不詳)撮影	
11	写真(中庭での田沢式呼吸体操)		大正の頃(年月不詳)撮影	
12	開校当時の授業内容(日記抄抜粋)		1875(明治8)年1月8日	
13	『をりをり草』	跡見花蹊述 実業之日本社	1915(大正4)年10月10日	資料番号16 パネル展示
14	『女の道』	跡見花蹊述 旭日書房	1917(大正6)年2月	資料番号15 パネル展示
17	書簡(朝倉文夫から跡見李子宛)		1949(昭和24)年7月18日	
18	茶筒	朝倉文夫作	1949(昭和24)年7月18日	
19	竹茶杓 銘 延壽	朝倉文夫作	1949(昭和24)年7月18日	
20	香合 銘 九月		1913(大正2)年1月25日	明治天皇遺物下賜
21	写真(点茶の授業)		大正の頃(年月不詳)撮影	
22	写真(茶道実習授業風景)		平成 撮影	大学蔵
23	風炉先屏風 鳥の子			個人蔵
24	風炉 砂張銅切朝鮮風炉	唐銅風炉師 福島宗秀作		個人蔵
25	釜 真形釜	釜師 晶善齋作		個人蔵

番号	資料名	作者	年代	備考
26	敷板			個人蔵
27	建水 三嶋建水	八幡窯		個人蔵
28	蓋置 雪洞	瑞豊作		個人蔵
29	柄杓			個人蔵
30	棚 溜塗 丸卓	宗悦写		個人蔵
31	水指 仁清写 春草枝垂桜	上山善峰作		個人蔵
32	中棗 銘 誰ヶ袖春野	修作		個人蔵
33	抹茶碗 高麗青磁	韓国仁川窯		個人蔵
34	黒竹茶杓 銘 夜桜	韓国江原道		個人蔵
35	茶笥			個人蔵
36	菓子器 瓢			個人蔵
37	写真(香道実習風景)		平成 撮影	大学蔵
38	パネル(主な香の原料)			
39	パネル(香の形)			
40	香道の道具			大学蔵

展示室2 「写真で見る学園の歩み」

番号	資料名	作者	年代	備考
1	写真(開校当時の記念写真)		1875(明治8)年1月8日撮影	
2	写真(小石川柳町校舎正面玄関前)		1897(明治30)年頃撮影	
3	写真(卒業記念写真)		1896(明治29)年撮影	
4	写真(鎌倉小町園へ卒業生と記念旅行)		1906(明治39)年撮影	
5	写真(校風の制定とガバレット)		1924(大正13)年撮影	
6	写真(新旧両様の校服)		1932(昭和7)年撮影	
7	写真(大塚新校舎初の卒業生)		1933(昭和8)年撮影	
8	写真(白子農園にて)		1938(昭和13)年撮影	
9	写真(大戦中の卒業記念写真)		1945(昭和20)年撮影	
10	写真(中学校、高等学校制服)			
11	通学用かばん			
12	洋式の校服			
13	高等学校制服			
14	冬用コート			
15	写真(東海道新幹線に乗り込み修学旅行へ)		1965(昭和40)年撮影	
16	『婦人世界』 巻4第7号	実業之日本社	1909(明治42)年6月1日	
17	記念アルバム『女学校展覧会』		1928(昭和3)年頃	
18	『アサヒグラフ』 1952年4月16日号/1953年3月18日号	朝日新聞社	1952(昭和27)年4月16日/ 1953(昭和28)年3月18日	大学図書館蔵
19	花蹊考案の小桂		大正の頃(年月不詳)	
20	小桂		大正の頃(年月不詳)	
21	写真(跡見学園短期大学)		1959(昭和34)年頃撮影	
22	写真(跡見学園女子大学開学)		1966(昭和41)年頃撮影	
23	写真(現在の学生)		2013(平成25)年2月撮影	
24	写真(現在の学生)		2013(平成25)年2月撮影	
25	写真(新座キャンパス最後の卒業生)		2009(平成21)年3月撮影	個人蔵
26	写真(文京キャンパス最初の卒業生)		2012(平成24)年3月撮影	個人蔵

主要引用・参考文献

番号	編著者名	文献名	発行所	刊行年	備考
1		『婦人世界』巻4第7号	実業之日本社	1909年	
2	跡見花蹊述	『をりをり草』	実業之日本社	1915年	59頁～60頁引用
3	跡見花蹊述	『女の道』	朝日書房	1917年	44頁～45頁引用
4	藤井瑞枝	『花蹊先生実伝 花の下みち』	実業之日本社	1919年	
5		『アサヒグラフ』1952年4月16日号	朝日新聞社	1952年	
6		『アサヒグラフ』1953年3月18日号	朝日新聞社	1953年	
7	跡見学園	『跡見学園九十年』	跡見学園	1965年	
8	中野一夫編	『跡見花蹊詞藻』	学校法人跡見学園	1995年	
9		『跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館記念特別展跡見花蹊とその時代』		1995年	
10		『にいくら』	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	1996年～	
11		『跡見学校の校服をたどる―明治・大正期の女学生―』	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	1998年	
12		『写真で見る跡見学園の歩み』	学校法人跡見学園	2000年	
13		『かをりとら』	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	2002年	パネル38で写真転用
14	一三〇年史編集委員会	『跡見学園―一三〇年の伝統と創造』	学校法人跡見学園	2005年	
15	戸田宗安他	『茶席の香』	淡交社	2005年	パネル39で写真転用(95頁)
16	コナ・ブックス編集部編	香老舗松樂堂監修『日本の香り』	平凡社	2005年	
17		『跡見純弘コレクション』	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	2005年	
18		『跡見純弘コレクション 収蔵作品目録2』	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	2010年	